

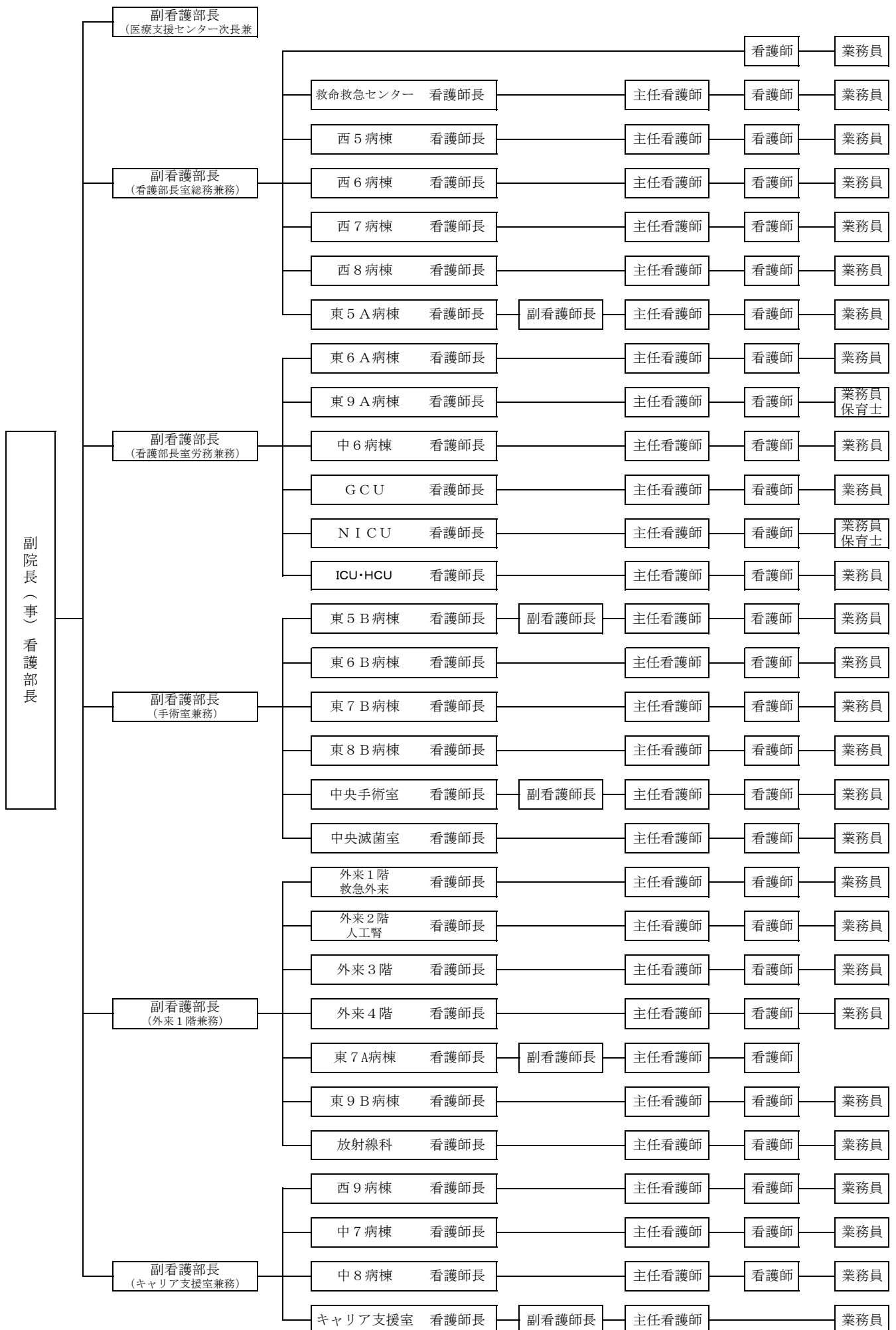
広島市立広島市民病院

目次

1. 看護部組織図	11
2. 看護部理念・目標	12
3. 令和6年度看護部目標・BSC	13
4. 看護部教育	
1) 継続教育	14
2) 教育関連講習会受講状況・院内認定・院内資格	20
5. 看護活動	
1) 専門・認定看護師活動	21
2) 学会・誌上発表	30
3) 教育活動（講師・その他）	32
6. 臨地実習受入校・実習部署一覧	36
7. 認定課程・特定行為研修受入学校・研修部署一覧	37

2025年度 看護部組織図

2025年4月1日



基本理念・看護部の理念

【基本理念】

患者さんと協働して、心のこもった安全で質の高い医療を行います。

【基本理念実現のための3つの柱】

1. チーム医療を推進し、信頼され満足される医療を行います。
2. 地域医療機関との連携のもとに、救急医療と高度で専門的な医療を行います。
3. 健全な病院経営を行うとともに、すぐれた医療人の育成に努めます。

【看護部の理念】

私たちは、やさしさと思いやりを大切にした、安心・安全な看護を行います。

【看護部の基本方針】

- 1 患者さんとともに、安心できる安全な療養環境を整えます。
- 2 地域の医療機関と連携し、チーム医療の推進に努めます。
- 3 急性期病院として看護の専門性を高めるとともに、豊かな人間性を兼ね備えた人材育成を行います。
- 4 看護する喜びと誇りを持って働ける職場環境づくりを行います。
- 5 ムリ・ムダ・ムラをなくし、健全な病院運営に貢献します。

2024 年度マネジメントシート(看護部)				2024年4月9日		
看護部の目標 ①看護職の責務を担い、生活と保健医療をつなぐ質の高い看護を提供する ②すべての看護職員が働き続けられる職場環境を作る						
取り組みの柱	目標	目標達成のための項目	業績評価指標	2024年度目標値	上半期実績値	2024年度実績値
医療機能の拡充（顧客の視点）	安心・安全な看護の提供	アクシデントの減少	転倒転落発生件数（レベルⅢ b 以上）	15件／年／全体	3 b :8件	3 b :11件
			薬剤関連事故件数（レベルⅢ b 以上）	10件／年／全体	11件	17件
			情報漏洩事故件数（レベルⅢ b 以上）	25件／年／全体	9件	40件
			* IA事例分析件数（RCA・SELL分析など）	2件以上／年／部署	29例	48例 50%
		医療安全の強化	* 医療安全研修会参加もしくは web閲覧率	100%	74%	77%
		感染対策の強化	* 院内感染のアウトブレイクを起こさせない	0件	2件	5件
			* 感染研修会参加もしくは動画の視聴率・web閲覧率	100%	82. 30%	平均83. 8%
	患者の視点に立った医療・看護の提供	入院・退院支援の強化	* 要支援・要介護認定者の看護情報提供書発行割合	80%以上	96%	98. 70%
			* 退院支援連携に関わる退院前カンファレンスの件数	介護支援等連携カンファレンス(小児含)110件／年	44件	106件/年
			入退院支援加算の算定件数	1, 000件以上／月	1096件/月	1095件/月
		患者満足度の向上	* 患者満足度調査の結果	85％／全体		看護師 外来74. 2% 入院93. 0%
		意思決定支援の推進	ICテンプレート記入率	100%		2. 30%
		療養環境の整備	療養環境の整備の未達成が2ヶ月続かない	80％／全体	78. 5%	78. 60%
			* 看護部患者アンケート調査の結果	85%以上	95. 0%	4 のみ-0. 7P 3 と 4 -1. 7P
		運営体制の強化（内部プロセスの視点）	チーム医療における質の高い看護の提供	チーム医療の推進の取り組み件数	5件	—
* 看護補助者と師長・主任を交えたミーティングの実施	1回／2ヶ月				72%	
* 身体抑制早期解除事例の検討	1件以上／年／部署			—	3.90%	
「安定した経営の維持」（健全な病院運営の視点）	病院経営への参画	病床の効率的な運用	D P Cの入院期間がⅡ期以内の割合	70%以上	69. 3%	70. 00%
			平均在院日数	10. 0日以下	9. 7日	9. 8日 精神科含10. 0日
			* 病床稼働率	80%以上／日	80. 2%	76. 2% 精神科含75. 8%
		急性期一般入院料1の維持	* 重症度、医療・看護必要度Ⅱ（7対1部署）	①25%以上 ②35%以上	41. 7%	①31.2% ②41.7%
		診療材料の適切な運用	* S P Dラベルの紛失率の低減	0. 2以下	0. 16%	0.16%
医療等を支援する人材の確保・育成（学歴・人財の育成の視点）	高い臨床実践能力を備えた人材の育成と確保	看護専門職としてのキャリア発達への支援	* キャリア開発ラダー（ジェネリストラダー・マネジメントラダー）の目指すレベル評価の実施	1回／人／年	1 4 名	合計193人
			院内認定看護師資格取得者数（Ⅳ・SEK・PCN・リエゾン・排尿ケア・RST）	150名	Ⅳレベル3：83名	201人
			* 地域貢献推進事業への参加	1人以上／部署	11名	11名
			学会参加（Web研修含む）	150名	58名	142人
		ワーク・エンゲージメントの向上	* ストレスチェック（健康リスク）前期チャレンジ（自分が認められ必要とされている）後期	115以下 3. 3以上	112%	3. 11
			* コンピテンシーの領域ⅠのC項目全看護師評価（B以上）	80%以上／全体	96%	97. 80%
			* 時間外削減（年間300時間越え人数の減少）	0名	0名	4名
		働き方改革の推進	* 応援看護師の派遣および受け入れのための体制作り	全部署	実践7部署	全1 2 部署導入済
			変則2交代制導入部署の拡大	5部署	1 部署	合計6部署
		人材確保	全職員の離職率	5%以下	2. 10%	新人：+5. 8P 全体：+1. 2P
			入職者向けアピール事業実施数と協力部署	5件以上 且つ20部署以上	7 部署	14部署

1) 継続教育

新人集合教育 企画：キャリア支援室・新人研修委員会

開催月	テーマ	講師	出席数
R6 /4	新規採用職員オリエンテーション	各部門担当者	86
	看護部の理念と組織体制	長谷川看護部長	86
	教育体制	瀬良副看護部長	86
	社会人基礎力・キャリアファイルの使い方	上田貴美副師長	86
	ワールドカフェ	片懸主任	86
	PNS マインド	万徳師長	86
	看護過程と看護記録の基本	記録委員会	86
	セルフマネジメント	船岡主任	86
	電子カルテ操作	伊藤奈美副師長・上田貴美副師長	86
	臨床研修Ⅰ・部署(3日間)	自部署	86
	血糖測定	テルモ	85
	インスリンの取り扱い	山本主任	85
	麻薬の取り扱い方	赤木薬剤師	85
	医療機器の取り扱い	松本臨床工学技士	85
	口腔ケアと食事介助・義歯の取り扱い	藤田摂食嚥下障害看護 CN	85
	呼吸の援助技術・吸引	アバノス(株) RST 奥野主任看護師	85
	心電図モニター	日本光電	86
	糖尿病看護の基礎	中村糖尿病看護認定看護師	86
	輸液ポンプ・シリンジポンプ取扱い T-Pas(消毒も含む)・血糖測定	テルモ	86
	静脈注射に関する講義 採血講義	インジェクショントレーナー 加古山主任・宮本感染 管理認定看護師	86
	静脈注射・輸液療法に関する講義	貸川集中ケア看護認定看護師・中井薬剤師・インジェク ショントレーナー	86
	酸素療法	上野クリティカルケア看護認定看護師	85
	認知症患者の看護(基礎)	大西認知症看護認定看護師	85
	バイタルサインとフィジカルアセスメント	笠井救急看護認定看護師	85
	社会人基礎力(コミュニケーション)	柴田主任	85
5	医療安全 IA 報告の書き方	宇野師長	85
	社会人基礎力(レジリエンス)	尾門主任	85
	看護記録の基本とクリパス・看護診断	看護記録・クリパス委員会	85
	I V ナースレベル 2 研修	薬剤部・インジェクショントレーナー	85
	臨床研修Ⅰ・部門	各部門・部署	85
7	シミュレーション(夜間巡視)	ラダーⅠ委員	85
	フィジカルアセスメント(意識)	板原救急認定看護師	83
	フィジカルアセスメント(呼吸、消化器)	貸川集中ケア認定看護師	83
	フィジカルアセスメント(循環)	山崎心不全看護認定看護師	83
	スキンケア	妹尾皮膚排泄ケア CN	82
	臨床判断能力を高める	笠井救急看護認定看護師	82
	看護必要度	看護必要度委員会	82
9	化学療法の基礎(I V ナースレベル 3)	秋元化学療法看護認定看護師	81
	造影剤の基礎(I V ナースレベル 3)	井手主任	81
	輸血の基礎(I V ナースレベル 3)	松田臨床輸血看護師	81
	看護倫理	看護倫理委員会	83
	看取りの看護	大森専門看護師・緩和西本認定看護師	83
	レポートの書き方	ラダーⅠ委員会	83
10	BLS・AED・気管挿管の介助・除細動の取り扱い・ICLS	院内 ICLS チーム	82
	臨床研修Ⅱ・ICU3 日・救命センター3 日間・NICU3 日間・ 外科系病棟 3 日間	救命センター・ICU・外科系病棟・NICU	82
R7 /1	シミュレーション研修Ⅱ	ラダーⅠ委員全員	82

2	ケースレポート発表会	ラダーⅠ委員会	80
3	ワールドカフェ・目標管理	ラダーⅠ委員会	77

グループ研修

〈臨床研修Ⅰ〉

4月 配属部署(3日間) 45名 6月 部門研修 52名

放射線科、医療連携室、手術室、外来部門、薬剤部、臨床検査部、防災センター、CEセンター

〈臨床研修Ⅱ〉

11月～12月 ICU(3日)または救命救急センター(3日間)または、部署別研修2日間

手術室所属：外科病棟 NICU所属：小児病棟 GCU所属：NICU 救命救急センター所属：循環器病棟

ラダーレベルⅠ取得者教育 企画：ラダーⅡ委員会

開催月	テーマ	講師	出席数
R6/6	3年目急変予測	笠井救急看護認定看護師、板原救急看護認定看護師	41
7	2年目 コミュニケーション研修	小川心理療法士	55
10	看護に活かすリーダーシップ	ラダーⅡ委員会	40
11	地域連携・医療支援	松谷副看護部長	55
12	リフレクション	ラダーⅡ委員会	39
R7/1	フィジカルアセスメント	ラダーⅡ委員会	58
2	2年目 PNS マインド研修	ラダーⅡ委員会・PNS委員会	33
	キャリアアップ	ラダーⅡ委員会	39
3	2年目 ショックの対応	ラダーⅡ委員会	55

ラダーレベルⅡ取得者教育 企画：ラダーⅢ委員会・看護倫理委員会・キャリア支援室・

開催月	テーマ	講師	出席数
R6/6	第2回 フレッシュパートナー研修	キャリア支援室・多田羅保健師	39
6	第1回 実習指導者研修	キャリア支援室 8B 重永 佳奈看護師	12
	第1回 指導のスキル研修会「コーチングとフィードバック」講義編	ラダーⅢ委員会	24
7	第2回 指導のスキル研修会「コーチングとフィードバック」実践編	ラダーⅢ(指導者育成)委員会	23
10	第3回 指導のスキル研修会「ファシリテーション」	ラダーⅢ委員会	23
	看護倫理研修	倫理研修委員会	28
	接遇研修	看護の質改善委員会	25
	第3回 フレッシュパートナー研修	キャリア支援室	38
	第1回 実習指導者研修	キャリア支援室	23
12	第4回 指導のスキル研修会「フォローアップ研修」	ラダーⅢ委員会	23
R7/2	第4回 フレッシュパートナー研修	キャリア支援室	31
	入退院支援	ラダーⅢ委員会	34
3	第1回 フレッシュパートナー研修	キャリア支援室	30
	第2回 実習指導者研修会	キャリア支援室 市立看護専門学校看護 宮原先生	22

ラダーレベルⅡ・Ⅲ・Ⅳ取得者教育 企画：PNS委員会

開催月	テーマ	講師	出席数
R6/6	ラダーⅢチャレンジャーPNSマインド研修	大西 恵子先生	34
9	ラダーⅢ・Ⅳ・Ⅴマインド研修「アサーション」	大西 恵子先生	31

ラダーレベルⅢ取得者教育 企画：ラダーⅣ委員会・RST部会・看護必要度委員会・看護研究委員会
看護倫理委員会

開催月	テーマ	講師	出席数
R6/5	第1回 問題解決技法	ラダーⅣ委員会	18
	第1回 RST研修会「呼吸器の解剖と生理 基礎編」	RST部会	83
	研究サポートNs研修「文献研究指導のポイント」	看護研究委員会 橋詰主任	18
6	第2回 教育担当者研修	キャリア支援室・多田羅保健師	23

	看護研究セミナー「看護研究計画書の書き方」	看護研究委員会 金谷主任	20
	令和6年度看護研究個別指導	看護研究委員会 加藤昭尚先生 杉山 直子先生	19
	第2回 問題解決技法	ラダーIV委員会	17
	第2回 RST 研修会「胸部単純写真の読影について」	RST 部会	88
	第3回 RST 研修会「聴診」	RST 部会	12
7	第4回 RST 研修会「体位管理・リハビリテーション」	RST 部会	12
8	第5回 RST 研修会「吸引手技」	RST 部会	12
	看護研究セミナー「論文の書き方」	看護研究委員会 新山主任	23
9	令和6.7年度看護研修個別相談会	杉山 直子・加藤 昭尚	33
	第3回 問題解決技法	ラダーIV委員会	18
	第6回 RST 研修会 「人工呼吸を必要とする病態と治療について」	RST 部会	12
10	第7回 RST 研修会 「NHFについて」	RST 部会	12
	第3回教育担当者研修	キャリア支援室	23
	第1回 リフレクション (前期開催)	ラダーIV委員会	20
11	第2回 リフレクション (前期開催)	ラダーIV委員会	19
	第8回 RST 研修会 「人工呼吸器体験・シミュレーション」	RST 部会	12
	第9回 RST 研修会 「人工呼吸器のモードと人工呼吸器装着患者の看護」	RST 部会	12
	看護倫理研修会「意思決定支援について」	大西認知症看護認定看護師、城崎精神科認定看護師	93
12	看護研究 R6 年個別相談会	杉山 直子・加藤 昭尚	14
	第10回 RST 研修会 「血液ガス」	RST 部会	12
	第1回 リフレクション (後期開催)	ラダーIV委員会	20
R5/1	問題解決技法 フォローアップ研修	ラダーIV委員会	16
2	第2回 リフレクション (後期開催)	ラダーIV委員会	20
	第4回 教育担当者研修	キャリア支援室	23
3	第1回 教育担当者研修	キャリア支援室 PNS 委員会「沖村」	23
	第4回 問題解決技法 発表会	ラダーIV委員会	16

広島市立病院機構看護職員育成 節目研修

開催月	テーマ	講師	出席数
R6/5	新師長研修	本部事務局 看護管理担当	5
6	新主任研修 リーダーシップ	有限会社 NTX 野口 和裕先生	7
R7/2	新師長フォローアップ研修	本部事務局 看護管理担当	5
	新主任研修 フォローアップ	本部事務局 看護管理担当	7

主任看護師管理教育：企画 主任研修委員会 看護必要度委員会 キャリア支援室

開催月	テーマ	講師	出席数
R6/4	クラスⅢ主任研修「コーチング」	大西 恵子先生	11
5	クラスⅠ新任主任オリエンテーション	長谷川看護部長、高魚副看護部長・瀬良副看護部長・松谷副看護部長	7
6	クラスⅣ主任研修「ファシリテーション」	大西 恵子先生	16
10	クラスⅡ主任研修「目標管理と SWOT 分析①」	田鉾師長・藤原主任	5
12	4年目以上主任 アンガーマネジメント	大西 恵子先生	23
R7/2	「目標管理と SWOT 分析②」	主任研修委員会	11
3	クラスⅢ主任研修「部署の課題解決に向けた取り組み」	主任研修委員会	11

師長管理教育：教育委員会

開催月	テーマ	講師	出席数
R4 /4	新師長研修「労務管理」	樽本副看護部長	5
	新師長研修「タイムマネジメント、日当直説明」	新本副看護部長	5
	師長管理研修「看護部のビジョン」「今年度のマネジメ	長谷川看護部長、樽本副看護部長、瀬良副看護部長	38

	ントシート、委員会など」「副看護師長制度について」		
	師長管理研修「病床管理コーディネーターによる病床管理」	松谷副看護部長	38
5	師長管理研修「看護協会助産出向報告」「PDA 紛失に関する事例検討」	泉助産師、看護部幹部	37
	師長管理研修「ハラスメントボックス投稿状況」	多田羅保健師	37
	師長補佐研修「看護部ビジョン」「労務管理」「目標管理」	長谷川看護部長、樽本副看護部長、新本副看護部長	5
6	師長補佐研修「看護倫理」「予算」	角森師長、古家師長	5
	師長管理研修「業務員業務量調査結果報告」「ふれあい看護補助者体験の実施について」	泉本師長、万徳師長、有田師長	37
	師長管理研修「火災報知機の誤作動の対応について」	後藤師長、新本副看護部長	37
7	師長補佐研修「タイムマネジメント」「包括ケア」「継続教育」	上田師長・松谷副看護部長・瀬良副看護部長	5
	師長管理研修「日本看護協会総会参加者報告」「管理者として危機意識の向上」	松谷副看護部長、宇野師長、尾崎師長、新本副看護部長	35
	師長管理研修「第29回日本緩和医療学会優秀演題発表報告」「変則二交代開始6か月後のアンケート結果報告」	西本麻衣子主任看護師、新田師長	35
8	師長管理研修「身体拘束最小化に向けた方策」「病床管理について」	大西師長・岩本師長	31
9	師長管理研修「発達障害の傾向にあるスタッフの支援 part 2」	順天堂大学病院 北川 明教授	41
	師長管理研修「自治体病院学会参加報告」「教育学会報告」	瀬良副看護部長、上田師長、中神師長、角森師長	33
10	「2023 年度業務量調査報告」「診療報酬改訂後の看護必要度について」「PNS の基本・自立した看護師の育成」	桐山師長、松本師長、笠井師長、万徳師長	29
	師長管理研修「クリティカルケア学会報告」「ふれあい看護補助者体験報告「RPA について」	富永 CN, 角中看護師、上野 CN, 斎藤 CNS、笠井 CN, 有田師長、樽本副看護部長	34
11	師長管理研修「救急外来院内留学1年経過しての学び」「外来業務量調査報告」「アクシデント発生時の対応」	渡部主任看護師、板原主任看護師、原師長、宇野師長	31
	師長管理研修「マネジメントリフレクション」	上田師長、平野師長	35
12	師長管理研修「摂食嚥下をサポートする SEK 部会の活動」「看護管理セミナー参加報告」「病院機能評価について」	藤田摂食嚥下認定看護師、高魚副看護部長、瀬良副看護部長	32
	師長管理研修「経営について」	企画課企画係 栗山係長	38
R5/1	師長管理研修「チャレンジ分析結果報告」「医療質安全学会報告」「日本情報学連大会・医療情報学会報告」	高魚副看護部長、伊藤師長、植田師長、樽本副看護部長、若林副看護部長	37
	師長管理研修「新人看護師の進捗状況報告」「自治体病院学会研修参加報告」	上田師長、有田師長、石原師長	38
2	師長管理研修「令和6年度 医療安全管理者養成講習会参加報告・学びの共有」	原師長、桐山師長、泉本師長、後藤師長	37
	師長管理研修「病棟管理」「スマートデバイスについて」	岩本師長、柴田師長	34
3	師長管理研修「PNS 研究会の報告・PNS マインドセット結果報告」「患者満足度調査報告」「看護記録オーディット報告」「EWS と RRS について」	新本副看護部長、万徳師長、石原師長、尾崎師長、上甲師長	35
	師長管理研修「臨地実習について」「身体拘束について」	市立看護専門学校 中脇副校長、飯田先生、大西師長	40

全看護職員対象教育

開催月	テーマ	講師	出席数
5	第1回医療安全研修会 「転倒転落予防対策部会報告」「新規導入生体情報モニターについて」「診療用放射線利用に係る安全管理のための研修」「放射線検査の医療安全「医薬安全活動報告」	各 WG 代表 GRM 医薬品安全管理者	984
	脳卒中研修会	脳卒中部会	83
6	糖尿病療法指導部会研修会「高血糖・低血糖」	内分泌・糖尿病内科 稲見医師	60
	がん薬物療法研修会「がん薬物療法の基本の“き”」	加登岡がん化学療法認定看護師	20
	脳卒中研修会	脳卒中部会	68
7	スキルアップ研修「急変前兆 に気づくための患者の評価方法」	笠井救急看護認定看護師、板原救急看護認定看護師	132
	第1回記録クリバス研修会	看護記録委員会	71
	NST 研修会「栄養管理体制と NST 介入について/経腸栄養剤と栄養について」	西森管理栄養士	63

	第2回医療安全研修会 「麻薬について」「医療機器安全管理研修」「RRS 部会報告」	赤木薬剤部長・栗原 CE センター技師長・外科 吉本医師	963
8	地域で「暮らす」そして「生ききる」に伴走する医療 病院機能に連動させた入退院支援・在宅療養支援	宇都宮宏子	111
	NST 研修「輸液と栄養について」	本村薬剤師	63
9	スキルアップ研修「心不全憎悪に気づくための基礎知識とフィジカルアセスメント」	山崎心不全認知症看護認定看護師	106
	がん薬物療法看護研修会「デバイスの取り扱い：ポート針/固定・各種ライン・フローサイン」	加登岡がん化学療法認定看護師	25
10	重症度、医療・看護必要度全体研修	看護必要度委員会	58
	糖尿病療法指導部会研修会「受けてみよう、糖尿病教室①」	内分泌・糖尿病内科医師 稲見医師・宮寄薬剤師	55
	PNS 全体研修会	田中加代子先生	90
11	第3回医療安全研修会「医療訴訟連絡協議会相互理解プログラム『模擬事例訴訟の進み方』」	広島地方裁判所光岡判事、広島弁護士会大村弁護士、前川弁護士	906
	がん薬物療法看護研修会「～がん薬物療法後の「食べれない」をどう考える？～有害事象とセルフケア支援」	加登岡がん化学療法認定看護師	17
	糖尿病療法指導部会研修会「受けてみよう、糖尿病教室②」	半田管理栄養士、北山歯科衛生士	38
	看護倫理全体研修	大西認知症看護認定看護師・城崎精神科認定看護師	93
	NST 研修会「検査値の見方/重鉛について（メーカー共同）」	中山検査技師	46
12	第4回医療安全研修会 「医療機器安全管理」「診療用放射線の利用にかかる安全管理のための研修」「放射線検査の医療安全」「医療安全活動報告」	栗原 CE センター技師長、放射線診断科飯田主任部長、渡邊放射線技師 医薬品安全宇野師長	863
	スキルアップ研修「認知症の人の不調に気づく」気づく「精神疾患の人の不調に気づく」	大西認知症看護認定看護師・城崎精神科認定看護師	60
	NST 研修「リハビリと栄養について」	田中理学療法士	30
	糖尿病療法指導部会研修会「受けてみよう、糖尿病教室③」	井川理学療法士・小林臨床検査技師・中村麻里子糖尿病看護認定看護師	39
R7/1	第5回医療安全研修会 「麻薬の取り扱いについて」	広島県健康福祉局薬務課 福原先生	797
	NST 研修「胃ろうについて」	外科 桂医師	44
	第2回記録クリパス研修会	看護記録委員会	46
2	がん薬物療法看護研修会「明日からやってみよう！アピアランスケア」	加登岡がん化学療法認定看護師	8
3	第6回医療安全研修会 「医薬品安全管理者研修」「RRS 部会報告」「医療安全活動報告」	中井薬剤師、八木看護師 医薬品安全管理室加古山主任	660
	院内看護研究発表会	看護研究委員会 杉山直子先生	82

看護補助者教育

開催月	テーマ	講師	出席数
R4 /6	「組織の理解と業務員の責務」	長谷川看護部長	140
7	「接遇とコミュニケーション」について	看護の質改善委員会	141
9	「PNS マインド研修」	万徳師長	73
10	「医療安全と守秘義務」	医療安全管理室・宇野師長	144
11	「業務員のできる感染管理」講義	宮本感染管理認定看護師	74
R5 /1	認知症患者の対応、関わり方について（業務員・担当主任コラボ研修）	大西認知症看護認定看護師	53

介助業務員導入教育

開催月	テーマ	講師	出席数
R6/6	「病院・看護部理念と看護補助者導入の経緯とその役割」「業務員の範囲と教育」	瀬良副看護部長 泉本師長、有田師長、万徳師長	6
12	「病院・看護部理念と看護補助者導入の経緯とその役割」「業務員の範囲と教育」	樽本副看護部長、瀬良副看護部長 万徳師長、泉本師長、有田師長	1

●災害支援ナース登録者

2025 年 3 月 31 日現在

配属部署	人数	配属部署	人数
救急外来	1 人	東 8B 病棟	1 人
ICU	1 人	感染管理室	1 人
HCU	1 人	放射線科	1 人
西 8 病棟	1 人	産後休暇・育児休暇	1 人
中 7 病棟	1 人		
東 7B 病棟	1 人		

合計 10 人

2) 教育関連講習会受講状況・院内認定・院内資格

●教育関連講習会・研修会受講状況

2025年3月31日現在

	修了年	人数	修了年	人数
広島県実習指導者養成講習会	2016年	1	2021年	1
	2018年	1	2022年	1
	2019年	1	2023年	1
	2020年	1	2024年	1
広島県看護協会研修責任者研修	2015年	2	2020年	1
	2016年	1	2021年	1
	2017年	1	2022年	1
	2018年	1	2024年	1
広島県看護協会教育担当者研修	2017年	2	2021年	3
	2018年	5	2022年	1
	2019年	3	2023年	1
	2020年	3	2024年	2
広島県看護協会実地指導者研修	2017年	2	2021年	3
	2018年	2	2022年	2
	2019年	2	2023年	2
	2020年	3	2024年	2
インジェクショントレーナー 養成プログラム	2016年	1	2020年	1
	2017年	1	2021年	1
	2018年	1	2022年	1
	2019年	1	2023年	1
シミュレーションディレクター 養成プログラム	2017年	4		
	2020年	6		
日本接遇協会接遇インストラクター 養成コース	2018年	2	2021年	2
	2019年	2	2022年	1
	2020年	2		

●6年間の院内認定者数

(人)

	2019年	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
RSTリンクナース	26		17	10	15	11
SEK	20		34		16	24
緩和ケアナース					10	11
リエゾンナース	18	16		16	17	16
排尿ケア	3	20	20	17		

●6年間のジェネラリストラダーラダー認定者数

(人)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
レベルⅠ	74	37	42	100	76
レベルⅡ	50	133	34	40	37
レベルⅢ	69	46	41	45	37
レベルⅣ	26	21	26	26	19
レベルⅤ	1				

●6年間のマネジメントラダーラダー認定者数

(人)

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
レベルⅠ	6	8	10	11	13
レベルⅡ	5	13	14	7	7
レベルⅢ	3	2	3	2	3
レベルⅣ	1	2	1	5	1
レベルⅤ	0	0	1	2	0
レベルⅥ	1	0	0	0	0

●認定看護管理者配置状況 2025 年 3 月 31 日現在

分野(人数)	配置部署
認定看護管理者(5)	看護部長室、救命救急センター

●5 年間の認定看護管理者教育課程修了状況 2024 年 3 月 31 日現在

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
サードレベル教育課程	3	0	1	0	2	0
セカンドレベル教育課程	14	0	3	5	4	5
ファーストレベル教育課程	13	7	11	9	8	8

●専門看護師配置状況 2025 年 3 月 31 日現在

分野(人数)	配置部署
がん専門看護師(2)	医療支援センター
小児専門看護師(1)	東 9A 病棟

●認定看護師配置状況 2025 年 3 月 31 日現在

分野(人数)	配置部署
救急看護(2)	救命救急センター、救急外来
皮膚・排泄ケア(3)	医療支援センター
集中ケア(1)	集中治療室
緩和ケア(4)	がん相談支援センター
がん化学療法看護(2)	通院治療室、東 6A 病棟
感染管理(3)	感染管理室、東 6A 病棟
糖尿病看護(1)	外来 2 階
新生児集中ケア(1)	NICU
手術看護(3)	手術室、東 7B 病棟、
摂食・嚥下障害看護(3)	救命救急センター、東 9A(小児)、医療支援センター
小児救急看護(3)	東 9A 病棟(小児)、GCU、総務課人事
脳卒中リハビリテーション看護(1)	中 8
認知症看護(1)	中 7
精神看護(1)	4 階外来(精神科)
心不全看護(2)	救命救急センター
クリティカルケア(2)	集中治療室

【がん看護】(仁井山)(大森)		
実践	教育	研究
1. 外来対応 1) 外来(緩和ケア科)での同席・看護実践 2) 緩和ケア面談〔カウンセリング〕(415 件/年)・ 浮腫外来(166 件/年)・診察同席(981 件/年)での看護実 ※2024/4/1～2025/3/28 までの件数 3) がん相談支援センターでのがん相談(電話相談・直接面談) 2. 入院対応 1) 病棟での同席 2) 看護実践(緩和ケア面談・浮腫に対する支援)	【院内】 1. 2024/7/26・7/27 ふれあい看護体験 講師(仁井山) 2. 2024/11/26 がんとともに～こころのサロン～「大切なひとががんになったら」講師(大森) 3. 緩和ケアリンクナース研修(6・10・2月の3回/年)企画・運営(大森・仁井山) 院内認定緩和ケアナース フォローアップ研修企画・運営(仁井山) 4. 2024/9/13 新人研修 講師「死のシミュレーション」(大森・仁井山)	1. 2024/6/8 第 11 回日本 CNS 学会で口演発表「ACP を実践する医師の思考のナラティブ分析ーがん看護専門看護師が医師と協働するためにー」発表者(大森)共同研究者(仁井山) 2. 2024/6/6-6/9 第 69 回日本透析医学会学術集会・総会 発表者「人生最終段階ではない患者が CKM を選択し医療チームで対応した 1 例」(仁井山)

3) カンファレンスの実施 4) 意思決定支援・IC 同席 1) がん患者指導管理料イ算定 (514 件/年) 2) がん患者指導管理料ロ算定 (560 件/年) 3) リンパ浮腫指導管理料 (4 件/年)	【院外】 1. 2024/6/3 第 6 回乳がんチーム医療研究会 in 瀬戸内 中四国世話人会 (仁井山・大森) 2. 2024/7/24 中外製薬依頼「患者を支えるための看護師の役割」講師 (仁井山) 3. 2024/10/5「救急蘇生研修」公益社団法人広島県看護協会 広島中支部教育担当 (仁井山) 4. 2024/11/6 高校でのがん教育講演会 講師 (仁井山) 5. 2024/11/23 緩和ケア研修会 ファシリテーター (大森) 6. 2025/2/8「第 24 回広島中支部看護研究発表会」公益社団法人広島県看護協会 広島中支部教育担当 (仁井山) 7. 2025/2/14 阪神 5 大学サテライトがん人材養成プラン がんブレイク「ACP とスピリチュアルペイン」講師 (仁井山)	3. 院内看護研究の指導 (仁井山) 4. 2025/2/8 第 24 回広島中支部看護研究発表会 口演発表 「認知機能低下を認める頭頸部がん患者への治療における意思決定支援」発表者 (大森) 共同研究者 (仁井山) 5. 2025/2/22-23 第 39 回日本がん看護学会学術集会 口演発表 「死生観を育む新人教育と今後の継続教育の課題」発表者 (仁井山) 6. 2025/2/22-23 第 39 回日本がん看護学会学術集会 口演発表 「希死念慮をもちながら乳がん治療に向き合う患者への支援」発表者 (大森) 共同研究者 (仁井山)
相談	調整	倫理調整
1. がん相談 (直接面談・電話相談) 2. がんカウンセリング 3. 病棟・外来看護師からの相談 (緩和ケアについて・患者・家族のケアについて、IC 同席依頼、研究相談) 4. 部署の勉強会や研修、カンファレンスの相談	1. 医療者間の調整 2. 介入困難事例の調整・介入 3. 外来での同席時に必要な部署へ調整・情報提供	1. 治療方針に関する意思決定 2. 倫理カンファレンス・病棟カンファレンスへの参加 3. 事例検討会の実施・参加 4. 倫理事例についての相談・レポート添削 5. IC 同席
【実践報告】 「診断時からの緩和ケア」を意識し、納得して治療を意思決定でき安心して治療を受けられることや早期からがん相談支援センターを周知できるように、診断時からの診察同席に力を入れて実践を行ってきた (全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業における指標の 1 つであるがん患者サポート率は、2023 年 4.4%→2024 年 [4-9 月まで] 11.0%と上昇している)。また、乳腺外科・婦人科・泌尿器科・通院治療室の 4 階外来、耳鼻科の 3 階外来、内科・外科の 2 階外来と定期的に会議を行い連携・協働することができた。		
【小児看護】 (斉藤)		
実践	教育	研究
*以下すべて児・家族ともに介入 ・病状説明介入 ・医療的ケア導入時の支援 ・入院・病状による精神的不安に対処介入 ・治療、在宅移行についての意思決定支援 ・養育困難事例への育児支援 ・小児虐待対応 ・きょうだい支援 ・グリーフケア(退院後訪問にも対応) ・小児科外来へ継続看護について提示、検討	(院内) ・「子どもの権利」: 病棟: 東 9A 病棟新人看護師 ・「小児の End-of-Life-Care」: 東 9A 看護師 ・デスカンファレンス、ファシリテーション ・CAPT 研修会 シンポジスト ・研究相談 (院外) ・市立看護専門学校(第 1・2 看護学科) 「子どものアセスメント」(各 2 コマずつ) ・広島大学病院 「2024 年度 小児看護に関する専門研修『基本コース』」講師(3 日間) ・広島大学病院 「2024 年度 小児看護に関する専門研修『アドバンスコース』」講師(3 日間) ・日本小児看護学会 テーマセッション ファシリテーター	・第 29 回 日本緩和医療学会学術集会 「ACP に関する医療従事者の意識調査と活動効果の報告ー第 1 報ー」
相談	調整	倫理調整
・退院困難事例 ・在宅移行支援	・在宅支援部門との連携 ・Ns と Dr の認識の違いについて	・治療方針に関する意思決定 ・倫理カンファレンス

・介入困難（看護ケア・移行期支援・意思決定・家族の心理的支援・家族関係ばど）事例 ・児の医療ケア継続支援 ・虐待事例、CAPT 事例への介入 ・対応困難な家族への介入 ・在宅支援室から移行期支援・在宅療養について ・成人移行した慢性疾患患者の在宅移行支援について	・他院転院症例、連携 ・訪問看護との連携(症状マネジメント・家族ケアなど) ・入所施設担当者と児・家族の希望・認識 ・児童相談所、子ども家庭センターと児・家族の状況、対応	・育児困難、医療継続に不安事例に関する介入
--	--	-----------------------

【実践報告】

慢性疾患・医療的ケアが必要な児・家族が、病状を理解・管理でき日常生活を送れるよう、直接支援や地域との連携を図った。また、治療や在宅移行についての意思決定支援とともに心理的サポートをおこなった。継続に支援を要する児・家族への支援が図れるよう、外来での継続看護がおこなわれるよう連携・調整。養育不安・虐待リスクがある家族の支援もおこなった。終末期の児・家族への End-of-Life-care や医療者間の倫理調整をおこなった。上記に対して、適宜スタッフ間での検討を教育的視点も考慮し提示・助言・調整した。

分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
皮膚 排泄ケア (石橋) (西原) (妹尾)	1. ストーマ：外来、病棟での看護実践 2. 褥瘡回診・カンファレンス 3. 褥瘡ハイリスクケアラウンド 4. 瘻孔、創傷ケア、スキンのケアの実践 5. 失禁ケア：失禁関連皮膚障害のスキンケア 6. 術後排便障害患者の看護、排尿ケアチーム活動 7. ストーマ造設予定患者への術前オリエンテーション	1. 6月 新人研修「スキントピア」講師 2. 褥瘡研修会「褥瘡対策編」企画運営（9・12・3月） 3. 褥瘡リンクナース会企画運営（6・8・10・12・2・3月） 4. 6月排尿ケア全体研修会	1. 10月11月 中国ストーマリハビリテーション講習会	1. 病棟・外来スタッフからのスキンケアおよび創傷ケアについての相談 2. 訪問看護師からの相談（ストーマ・褥瘡） 3. 他職種からの相談（栄養士、リハビリ、薬剤師など）

実践報告	ストーマ外来は1224件／年、ストーマ造設患者に対してストーマケアの指導や、日常生活のアドバイスなど看護実践を行った。また外科および泌尿器科外来と連携し、ストーマ造設術前の不安がある患者に対してストーマオリエンテーションを実施した。入院中の管理困難なストーマケアおよび瘻孔ケア、創傷ケア、スキンのケアの実践を行うと共に病棟スタッフに教育を行った。毎週木曜日は皮膚科医師、褥瘡部会メンバーで褥瘡回診しており、多職種で協働し褥瘡ケアを行った。褥瘡リンクナース会を開催し、院内の褥瘡ケアの向上を図った。尿路ストーマパンフレットと褥瘡対策マニュアルの改訂を行った。			
------	--	--	--	--

分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
救急看護 (笠井) (板原)	救急外来、救命救急センターにおいて救急・重症患者の看護実践 RST ラウンド	ラダーⅡ研修講師 「急変予測と対応」「フィジカルアセスメント」 「ショック」 ラダーⅠ研修講師 「意識のフィジカル」「心肺蘇生」「臨床推論」 「バイタルサインの見方」 心不全看護シリーズ研修会講師 「モニター心電図で気をつけること」 「症例を用いた心不全急性増悪の予兆」 東8B病棟	広島県看護協会 「新人ナース集合研修ー救急蘇生ー」 広島国際大学臨床講義 「救急医療体制」 「救急看護概論」「トリアージ」 日本看護協会クリティカルケア認定看護師教育課程実習指導 教育過程講義 訪問看護師対象「急変対応」研修会 訪問看護ステーション・かがやき ユースタイルケア広島 重度訪問看護	東8B 病棟より、致死的不整脈をおこす可能性のある妊婦の対応について

		「心電図の基礎」		
実践報告	救急外来や救命救急センターにおいて、トリアージや救急・重症患者の看護など救急看護の実践を行った。緊急入院や重症患者に対して、精神的危機的状況に陥っている患者本人や家族または患者を取り巻く人々に対して、精神的ケアを行った。実践を行うとともに、救急看護の質向上のための教育活動を行った。また、院内での急変対応の向上のため、ラダー委員会やスキルアップ研修など利用して、教育活動を行った。 地域貢献のため、訪問看護を行っている看護師または介護士に対し、急変の場面における処置について講義による基礎知識を学び、演習を通じて技術を習得できる研修を行った。			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
糖尿病看護 (中村)	1. 糖尿病教室運営、講義 2. フットケア外来 3. 糖尿病外来看護相談(生活指導、インスリン指導など)	1. 新人看護師研修(4月) 2. 糖尿病療養指導部会研究会「高血糖と低血糖」企画運営(6月、10月、11月、12月)	1. 広島県糖尿病運動療法セミナー企画(7月) 2. 中四国糖尿病療養指導セミナー座長(9月) 3. 広島市立看護専門学校第1・2看護学科2年生「糖代謝異常のある患者への看護」	1. 糖尿病教育入院について 2. インスリン療法拒否される患者について 3. 訪問看護師との連携(インスリン調整、フットケアなど) 4. 退院後の自己注射管理について
実践報告	外来糖尿病患者に対し、インスリン指導 32 件、透析予防指導 4 件、フットケア 45 件などを通して糖尿病看護を提供した。病棟患者に対して糖尿病教室の運営・講義を他職種と協働しておこなった。糖尿病教室の年間受講者数は 103 名であった。新人看護研修や院内研修、看護学校や院外セミナーを通じて糖尿病看護の基礎の指導を行った。他部署・他職種からの糖尿病看護に関する相談に応じた。			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
新生児集中ケア (植田)	1. NICU・GCUにおけるハイリスク新生児の看護実践・ファミリーセンタードケア 2. 産科、OP 室と初期ケア協議 ・心疾患時の出生直後の OP 適応の児 3 退院支援 WG に参加し退院支援シートの修正 4. N2 療法を NICU と ICU で導入できるよう、CE と協働した	1. NICU 内ラウンド時、ワンポイントレクチャー(皮膚湿潤中の HFNC の固定方法・ポジショニング・機器の管理) 3. 新人・新任へのオリエンテーション(フィジカルアセスメント・痛み・管理) 4. GCU や ICU のワンポイントレクチャー(体温管理・ポジショニング・病態生理・挿管児のケア・OP 後ベッド作成・ストマ管理・FCC)	1) 国際大学助産学専攻科講義「NICU とハイリスク新生児のケア」 2) 県立大学・NCPR A コースインストラクター 3) 広島市立看護専門学校 第1・2看護学科講義「低出生体重児の看護」 4) 看護協会新人助産師集合研修「新生児のフィジカルアセスメント」	1. 頭部の皮膚湿潤の児のドレッシング剤について 2. ICU 長期入院児の FCC・心理士の介入について 3. ICU での心疾患児の術後体温管理について 4. ストマ造設児の皮膚びらんに対して、WOC 協働して対応を検討
実践報告	新生児や小児の皮膚トラブルの相談に対し、ドレッシング剤やテープなどを検討した。ストマに関しては WOC と一緒にケアを話し合った。ICU 長期入院児の両親へのケアとして、NICU に入っている心理士介入やリモート面会などを紹介し、心理士の介入を行った。新生児の心疾患術後の体温管理について相談あり、インファント下でのサーボコントロール方法を検討した。その他として、退院支援 WG に参加し退院支援シートの修正や N2 療法を NICU と ICU でスムーズに導入できるよう、CE と連携し手順などを作成し共有した。N2 に関しては酸素濃度計を活用した呼吸器回路内の濃度測定を行えるよう CE と協働中。			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
集中ケア (貸川)	・生命の危機状態にある患者への看護実践 ・特定行為実践 ・RST ラウンド ・RRS 活動 ・早期離床リハビリテーション加算	・ラダー I 研修「呼吸のフィジカルアセスメント」 「消化器のフィジカルアセスメント」 ・IV ナース研修	・市立看護専門学校第一看護学科 ・市立看護専門学校第二看護学科 「高度侵襲下にある患者の看護」	・人工呼吸器ケア、気管切開患者のケアについての相談(6A) ・NPPV 装着患者への口腔ケア(5A) ・人工呼吸器ケア離脱

	算定要件におけるテンプレート修正・カンファレンス開催	「輸液の基礎、アナフィラキシー」 ・5A 病棟 「人工呼吸器呼吸器療法、基礎編」 ・西 9 病棟 「人工呼吸器の取り扱いとケア」 ・院内 ICLS 研修、インストラクター ICLS 研修、ワークショップ	・集中治療医学会 中四国多職種セミナー運営 ・集中治療医学会 中国四国連絡協議会 運営委員会活動 ・広島県看護協会 「フィジカルアセスメント研修 呼吸・循環」 「救急蘇生」 ・クリティカルケア認定看護師教育課程実習	
実践報告	・生命の危機状態にある患者に対して多職種でカンファレンスを通して最善のケアが提供出来るよう介入。早期離床リハビリテーション加算算定要件に準じたカンファレンスの開催、テンプレート改定などおこなった。ICU 退室後患者へのケアや相談には横断的活動を通して全て対応し、病棟スタッフの不安が軽減できるようタイムリーな介入をおこなった。病棟からの相談、コンサルテーションでは対象の課題が解決できるよう一緒に課題解決に向けた話し合いをもうけて勉強会を企画した。その後は病棟で課題解決の状況を確認するなどフォローアップを行っている。			
分野	実践	指導		相談
		院内	院外	
緩和ケア (井上) (角本) (西本) 育休：信 安	1. 緩和ケア科外来での同席・看護実践（新規患者 53 件、再診患者 207 件） 2. 緩和ケア同席・面談・浮腫外来での看護実践（IC 同席 37 件、面談 88 件、浮腫 22 件） 3. がん相談支援センターでのがん相談対応 4. 緩和ケアチーム介入患者・家族への看護実践（291 件） 5. カンファレンスの参加・開催 (チーム、退院支援、看護、倫理、デスカンファレンスなど)	1. 新人研修「看取りの看護」(9 月) 2. 緩和ケアリンクナース研修(3 回) (6・10・2 月) 3. 院内認定緩和ケアナース育成コース (5 回) (5・10・11・2 月) 4. 緩和ケア研修会ファシリテーター (10 月) 5. エンゼルケアの勉強会 6. 救急における家族看護研修会 7. PCN フォローアップ研修会	1. 緩和ケアフォローアップ研修会ファシリテーター（広大：井上） 2. 広島市立看護専門学校の講義（一看、二看）	1. 病棟・外来看護師からのが んに関する相談（緩 和ケアについて・患者・家 族のケアについて） 2. リンパ浮腫・エンゼルケ ア・メイクに関する相談
実践報告	緩和ケアチームで、患者の症状マネジメントにおいては難治性の苦痛に対する苦痛緩和のための鎮静についてプライマリーチームと検討したり、スタッフ支援も含めて行った。また、社会的や課題などの全人的な苦痛についてプライマリーチームや医療支援センタースタッフなどと協働して実践を行った。さらに、緩和ケアチームが介入していない患者の治療方針検討など倫理的問題を含んだカンファレンスに参加し多職種協働を行った。また、緩和ケア外来では、患者指導、療養状況を把握や療養に関する意思決定支援を行った。			
分野	実践	指導		相談
		院内	院外	
小児 救急看護 (上甲) (木下)	1. CAPT 委員会・研修会主催 2. 「気になるシート改訂版」を活用した子ども虐待発生意防止に向けたとりくみ（スクリーニングと多職種連携のシステム構築） 3. RST 部会 研修会主催	1. 新生児 BLS 指導 PBLIS・院内心停止後の対応（PALS）について 2. 乳児・小児 BLS 指導 3. 先天性心疾患患児のご家族への BLS 指導 4. 不慮の事故で入院した児のご家族への事故予防指導 5. 小児のフィジカルアセスメント講義（1 年生対象）	1. 広島大学小児専門研修グループワークでのアドバイザー 2. 看護専門学校講義（国際大学、呉医師会看護専門学校、市立看護専門学校、三次看護専門学校） 3. 荒木脳神経外科病院での講義 「小児頭部外傷後の看護」	
実践報告	虐待予防・事故予防に関して、院内外での取り組みを行った。院内スタッフ・病気の子どもを育てるご家族に小児蘇生法について伝達した。			

	CAPT で対応している事例に対して、院内連携から地域連携まで途切れのない支援が行われるためのシステム構築（チームカルテ導入）を進めている。今後実践して評価する。 広島県の小児看護に携わる看護師の看護実践へのアドバイスを継続的に行っており、本年も実施した。			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
手術看護 (中西) (伊藤) (富永)	1.手術室・病棟における看護実践 2..術後疼痛管理チーム運用（対象病棟拡大） 広島大学疼痛チーム見学	・手術室新人看護師オリエンテーション（4月） ・6A病棟対象「周術期の看護」（2月） ・体温管理プロトコル作成（8月） ・病棟看護師対象疼痛学習会（10月） ・PONV 治療薬申し送り方法の決定（10月） ・心外手術に関する勉強会開催	・日本手術看護学会中国地区シンポジウム（6月） ・日本手術看護学会中国地区CNセミナー（11月） ・日本手術看護学会中国地区研究発表（11月） ・手術看護学会中国地区認定セミナー講師（11月） ・看護協会セミナー講師（11月） ・日本手術看護学会年次大会教育講演（10月）	・術後疼痛患者の対応（コンサル） ・食道がん腹臥位手術体位固定の方法 ・食道がん術前患者のパンフレット活用について（7B）
実践報告	手術室部署内での実践および勉強会の開催を通じて、手術看護の質の向上に向けて取り組んだ。特に、ロボット手術における体位固定の質の向上、特殊体位固定方法の検討および改善に取り組んだ。周術期看護においては、主に術後疼痛管理チームの活動について対象病棟を拡大すると共にチームでの病棟ラウンドを実施した。病棟での各勉強会の開催によって周術期看護、継続看護の強化に努めた。			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
感染管理 (多田) (竹内) (宮本)	1. 医療関連感染など各種サーベイランス（SSI・VAE・CLA-BSI・耐性菌・手指衛生）の実施 2. 感染リンクナース会運営（全6回実施） 3. 感染防止対策地域連携加算に係る相互チェックラウンドの実施（広島県立病院） 4. 感染対策向上加算に係る合同カンファレンス主催（全4回実施） 5. ICT 院内環境チェックラウンド 6. ICT/AST 抗菌薬適正使用チェックラウンド 7. ICT 耐性菌ラウンド 耐性菌および重要な病原菌検出時の対応	4月 新規採用職員研修 初期臨床研修医オリエンテーション IV ナース研修 9月 手指衛生直接観察法（東9B） 10月 手指衛生直接観察法（NICU/GCU） 11月 業務員研修 講師	（訪問指導） ・広島市立リハビリテーション病院 ・梶川病院 ・かわごえ循環器内科 ・二階堂耳鼻咽喉科 9月 災害支援ナース養成研修 講師 10月 国際医療福祉大学九州地区障害教育センター認定看護師教育課程（感染管理） 11月 災害支援ナース養成研修 講師	4月～12月 405件
実践報告	手指衛生遵守率の向上のための取り組みとして、手指衛生直接観察法を導入した。その結果、NICU、GCU での手指消毒剤の使用量が昨年度より、約50%増加し、MRSAの検出率も低下傾向にある。 また地域のクリニック等へ感染対策訪問指導を行い、地域の感染対策の質の向上にも努めた。			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
摂食・嚥下 (藤田) (尾門)	1. 患者の間接訓練・直接訓練・食形態調整・体位調整 2. NST ラウンド（月1回：12回） 3. SEK ラウンド（月4回） 4. スクリーニング実施（所属病棟） 5. SEK PHS の運用 6. SEK 部会 院内認定ナース会主催 7月2月（院内認	・4月、7月 新人研修「嚥下障害の基礎」「経管栄養」「口腔ケア」「食事介助法」 ・NST 部会 ・SEK 部会： 嚥下ラウンド 毎週月曜日 運営・参加 10月 SEK 部会養成講座講師	・口腔ケア研究会ひろしま世話人所属 ・日本赤十字広島看護大学ティーチングアシスタント 摂食・嚥下障害患者を中心としたチーム医療について ・山崎病院 訪問研修研修	・PHS,クジラメールでの個別対応 摂食機能療法算定、患者のケア実践の内容や方法、食事形態やケア実践について

	定ナース対象)	「摂食・嚥下障害患者の看護」 11月～3月 部署毎ポジショニング研修 5回実施予定 ・実技研修指導者養成（ポジショニング+食事介助）		
実践報告	SEK 認定養成講座の近隣病院などから院外参加者の受け入れを再開した。毎月 30 人程度の参加であった。その一病院から外部講師依頼があり実施した。 院内認定看護師のスキル向上に向けてリンクナース会を行い、目標や活動計画などの明確とした。 毎週月曜日のラウンドにおいて、摂食嚥下機能回復体制加算 2（190 点）の算定を 5 月から開始し毎月 10 件前後。 院内看護師を対象に実技研修会の再開に向けて、SEK 部会看護師の育成のため食べるためのポジショニングの実技研修を 2・3 月に 1 回実施した。2025 年からは 5 月～全部署を対象に開始予定			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
がん 化学療法 (加登 岡)	1. 病棟でのがん化学療法看護実践	院内がん薬物療法看護研修ベーシック・アドバンスコース	8月 9月 広島市立看護専門学校第一看護学科、第 2 看護学科 2 年生 講義	1. 抗がん剤投与方法・順序についての相談 2. CV ポートの使用方法について 3. 抗がん剤注入時の曝露対策
実践報告	院内研修を中心に院内でのがん治療について質向上を図った。IV リンクナース会で曝露対策や指示書の見方について講義をさせていただいた。部署異動があることを考え全スタッフを対象としたが、非がん患者関連の部署ではあまり興味が得られなかったため、対象を考えて今後検討していく。			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
脳卒中 リハビリ テーション看護 (橘)	・救命救急センター、脳神経内科病棟における看護実践		7月 日本脳神経看護学会中国地方部会 第 37 回脳神経看護セミナー 企画・運営・講師 「明日から使える！認定看護師による脳卒中のざっくり解説《超基礎編》①疾患の概要 1月 日本脳神経看護学会中国地方部会 第 38 回脳神経看護教育セミナー 企画・運営 脳血管模型作成のファシリテーター	
実践報告	院内における実践活動としては、主に、所属する病棟での OJT によるスタッフ教育を行った。主な内容としては、脳神経疾患患者の病態の理解や観察方法について知識や技術の提供、高次脳機能障害特有の看護ケアなどについて、スタッフと共に考える場を設けながらの実践・教育を行った。院外活動としては、広島県内の医療職者に対する質の高い脳神経看護実践に貢献するため、所属する学会の地方部会世話人として、脳神経看護教育セミナーの企画・運営・講師（ファシリテーター含む）を行った。			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
認知症看護 (大西)	1) 中 7 病棟に入院する認知症、精神疾患と共に生きる人に対する看護実践、せん妄予防ケアの実践 2) 認知症ケアチーム活動を通じた各部署での看護実践、認知機能評価、退院支援 3) リエゾンチーム活動を通じ	【OJT】 看護実践活動とチーム活動を通じた助言 【研修企画・講師】 新人看護師対象「認知症看護の基礎知識」講師 リエゾンリンクナース連絡会講師	なし	院内職員個別相談：3 件 院外一般者、医療者相談対応：5 件 外科患者の治療方針に関する意思決定支援相談：2 件

	た看護実践、傾聴、共感、支持的対応、せん妄予防ケアの実践 4) 医師との協働タスクシフト・シェア：術前後認知機能評価問診2件 5) 高齢者がん患者支援：高齢者総合機能評価（CGA7）によるスクリーニング、多職種連携1件	スキルアップ研修講師 リエゾン院内認定看護職員育成講習講師 倫理研修講師 業務員対象研修講師		
--	---	---	--	--

実践報告	認知機能障害、認知症をもつ患者の意思決定能力に関する院内相談が増加する傾向にある。相談対応を精神科認定看護師と協働して行っている。 身体拘束最小化委員会の設置を行い、令和7年度に向けて活動を開始するため、企画運営を行う。			
------	---	--	--	--

分野	実践	指導		相談
		院内	院外	
精神科 (城崎)	1) 精神科リエゾンチーム活動を通じた各部署での看護実践（傾聴、支持的対応、せん妄予防ケア）、 2) 認知症ケアチーム活動を通じた各部署での看護実践（見当識支援、安心できる対応、BPSD 予防） 3) 個別看護相談での看護実践（不安・自殺リスクなど直接支援） 4) 術前後認知機能評価問診79件	・チーム活動を通じた助言（環境調整・非薬物療法・薬剤使用の助言） 【研修企画・講師】 6月・10月・2月 リエゾンリンクナース連絡会 6月・9月 新任者対象 メンタルヘルス研修 8-9月 新人看護師対象 せん妄研修 10月・11月 リエゾン院内認定看護職員育成講習 11月 看護部倫理研修 意思決定支援 12月 自殺リスク対策研修 12月 スキルアップ研修 精神疾患の人の不調に気づく 1-2月 精神保健福祉法に関する学習会（西6）	6月 日本精神科看護協会認定活動実践について 9月・11月 広島市立広島看護専門学校講義（第一看護学科、第二看護学科）「リエゾン精神看護」 12月 安佐市民病院全職員対象研修 「身体拘束最小化について」	1) 精神的不調のある対象者の捉え方について 2) せん妄・BPSD・精神症状への対応について 3) 自殺リスクへの対応について 4) 認知機能障害に伴う意思決定支援について 5) 精神科病棟での患者対応について

実践報告	今年度より、精神科リエゾンチームと認知症ケアチームの専任となり、両チームを軸とした上で、双方をリンクさせながら患者・医療スタッフを支援できるよう、医師や他職種、認知症看護認定看護師と協働している。またチーム活動の中で、身体拘束最小化に向け、部署での対応を検討できるよう支援している。自殺リスク対策や意思決定支援など精神的課題に対する相談が増えており個別に対応しているが、患者支援だけでなく、部署スタッフの実践力向上の機会にもなるよう意識して対応を継続する。			
------	--	--	--	--

分野	実践	指導		相談
		院内	院外	
慢性・心不全 (杉町・山崎)	救命救急センター、東5A、東5B病棟に入院する、心不全患者へ看護実践を行い介入する。 1. 個別性のあるセルフケア指導 2. 症状緩和について 3. 終末期看護、意思決定支援について 4. 在宅療養支援（社会資源の活用） 5. 急性期心不全患者早期離床プログラム活用推進	・救急看護認定看護師協働企画 心不全看護シリーズ研修会開催 第1回 10月25日（火） 「心不全ってなに？」 担当：山崎 第3回 12月10日（火） 「心不全を起こす代表的疾患と治療・薬剤」 担当：杉町 ・心不全部会企画 1月23日（木） 「心不全療養指導士の役割と	5月10日（金） 担当：杉町 訪問看護ステーションかがやき 「心不全の基礎知識とセルフケア」 6月12日（火） 担当：杉町 広島県シルバーサービス振興会キャリア支援研修「高齢者の心疾患」～心不全の基礎知識～ 5月24日（金）、10月18日（金） 担当：杉町 広島心不全連携講演会	1. 東5A病棟 毎週水曜日多職種カンファレンスに参加し、相談の機会とした。（前期18件 / 後期18件） 1) 個別性のあるセルフケア指導（3件 / 10件） 2) 終末期の看護について（ACP含む）（3件 / 5件） 3) 退院支援（社会資源の活用など）（18件 / 18件） 4) 心不全症状緩和ケア（0件 / 0件） ※重複項目あり

	6. 療養支援プログラム導入 7. 心不全患者栄養サポート	院内活動で期待すること」 1月30日（木） 「心不全の終末期ケア」	「明日からの心不全連携を考 える会」 11月12日（火） 担当：杉 町 広島県訪問介護事業連絡協議 会 「心疾患 ～心不全の基礎知 識～」	2. 救命救急センターから相談依 頼件数（前期8件/後期15件） 1) 症状緩和ケア（3件/2件） 2) 早期離床（心臓リハビリ）（5 件/3件） 3) 個別性のあるセルフケア指 導（0件/12件） 3. ハートサポートチームラウン ド 毎週水曜日 9月～東5B病棟も開始
実践報告	今年度より E-BED システムが導入となり、当該病棟以外の病棟でも心不全患者の入院が予測される。そのため、心不全看護に対する不安が少しでも軽減できるように、救急看護認定看護師と共同し「心不全看護シリーズ研修」を開催した。外来を含む30部署からの研修参加があった。さらに、知識を深めたいとの要望もあり、次年度よりアドバンスコースも開催予定である。引き続き看護の質向上に努めていく。			
分 野	実 践	指 導		相 談
		院 内	院 外	
クリティ カルケア （上野） （平家）	・生命の危機状態にある患者への看護実践 ・特定行為実践 ・RST ラウンド ・RRS 活動 ・RRS ラウンド	・新人研修「酸素療法」 ・西5「人工呼吸器の理解と取り扱い」 ・周術期管理チーム：「周術期ACP」	・市立看護専門学校第二看護学科「救急看護」「災害」 ・中四国多職種セミナーファシリテーター ・クリティカルケア認定看護師教育課程実習指導 ・クリティカルケア看護学会発表	
実践報告	部署内で看護実践や特定行為実践を通して、スタッフとともに生命の危機状態にある患者への介入を行い、質の向上にむけて取り組んだ。さらに、RST ラウンドを通して病棟対応を行った。RRS では対応側の質向上のため症例検討を実施し、院内では呼びやすくするために何ができるかを検討している。今後もつなぐ看護を実践していく。			

認 定 看 護 師 活 動 実 績（2024 年度）

【総括】

専門看護師の役割には実践・相談・調整・教育・研究があり、また、認定看護師の役割には実践・指導・相談がある。専門・認定看護師会の活動実績を前述に報告した。

専門認定看護師役員会を7回/年、全体会を3回/年開催した。専門・認定看護師は、分野毎の専門性を互いに理解し協働することを意識し、看護の質向上を目指し看護実践活動を行った。コロナ感染症対策が継続する中で、院外への活動発信として、地域の方へ「あなたのまちの病院だより」を発行し、来院される患者さんにむけて、活動内容を広報した。

部会活動として、広報部で発行しているCNだよりを1回発行し、全部署に配布し、ホームページに掲載することで認定看護師の活動の広報を行った。院内研修部では、集合研修の実施が可能となったことから、スキルアップ研修を3回/年実施した。笠井救急看護CN、板原救急看護CNによる「急変前兆に気づくための患者の評価方法」、山崎心不全看護CNによる「心不全増悪に気づくための基礎知識とフィジカルアセスメント」、大西認知症看護CN「認知症の人の不調に気づく」、城崎精神看護CN「精神疾患の人の不調に気づく」の講演を、研修部とキャリア支援室との共催で開催し予定通り実施した。

特定行為研修修了者は6名となり、看護師特定行為研修部会で承認された行為について令和6年度は153件実施し、徐々に活動を拡大している。

（文責：大西・瀬良）

●2024 年度 学会発表

年	月	演題名	発表者	第 回	学会名	開催地
2024	6	人生最終段階ではない患者が CKM を選択し医療チームで対応した 1 例	仁井山由香	69回	日本透析医学会学術集会	神奈川
2024	6	ACP に関する医療従事者の意識著す後活動効果の報告ー第 1 版	斉藤志織	29回	日本緩和医療学会	兵庫県
2024	6	ACP 情報提供ツールの活用に関する医療従事者の実態調査ー第 2 版	仁井山由香	29回	日本緩和医療学会	兵庫県
2024	6	救命救急センターにおける心不全患者の苦痛スクリーニングの集計結果からみえた課題	西本麻衣子	29回	日本緩和医療学会	兵庫県
2024	6	ACP を実践する医師の思考のナラティブ分析ーがん看護専門看護師が医師と協働するためにー	大森和美	11回	日本 CNS 看護学会	山梨県
2024	6	A 病院救命救急センターにおける impella (補助循環用ポンプカテーテル) 導入時の看護師の不安	餅原圭悟	20 回	日本クリティカルケア看護学会学術集会	沖縄県
2024	6	心停止後症候群の家族支援として CNS-FACE II を用いた関わりー危機理論解決モデルを用いてー	上野友香里	20回	日本クリティカルケア看護学会学術集会	沖縄県
2024	6	食道癌患者の ICU オリエンテーションの検討ー術前のイメージと術前の状態の乖離を最小限にするためにー	角中愛美	20回	日本クリティカルケア看護学会学術集会	沖縄県
2024	6	人生最終段階でない患者が CKM を選択し医療チームで対応した 1 例	仁井山由香	69回	日本透析医学会学術集会・総会	神奈川
2024	8	入院中の高齢心不全患者の fatigue (倦怠感・疲労) の実態と影響要因	杉町英子	50回	日本看護研究学会学術集会	奈良県
2024	8	早産児の哺乳障害に対する嚥下機能訓練のアプローチについてー合併症により哺乳開始が遅れた事例ー	西本佳菜	30回	日本摂食嚥下リハビリテーション学会	福岡県
2024	9	急性期脳卒中患者の尿路感染予防策の効果	川村泰貴	31回	日本排尿機能学会	福島県
2024	10	思いを言葉で表出しない末期がん患者との関わりを振り返ってー本質を見抜くためのケアとは何かー	阿部美保子 (IGL訪問看護ステーション) 仁井山由香	47回	日本死の臨床研究会	北海道

年	月	演題名	発表者	第 回	学会名	開催地
2024	10	患児の死を体験した小児病棟看護師のストレスコーピング	中島奈美	47回	日本死の臨床研究会	北海道
2024	10	A 病院手術室看護師の経験年数別のストレスの実態	小川幸子	38回	日本手術看護学会	北海道
2024	10	パートナーシップ・ナーシング・システムにおける手術室新人看護師が求める先輩看護師の言動	富永駿	38回	日本手術看護学会	北海道
2024	10	脳神経疾患患者への身体拘束を行う看護師の倫理的思考と行動	柳絢子	62回	全国自治体病院学会	新潟県
2024	11	動画撮影を用いた多職種連携 PMCD シミュレーションの実践報告	小原史帆	6回	日本救急看護学会	東京都
2024	11	エコーを使えば看護が変わる ～尿路感染率ゼロを目指して～	大城桃子	25回	医療のTQM推進協議会	岐阜県
2024	11	腹膜透析患者が退院後に抱く困難感	中村真紀子	30回	日本腹膜透析医学会学術集会	福岡県
2024	11	入院患者の服薬管理アセスメントテンプレート適正使用の実態調査	加古山佳子	19回	医療の質・安全学会学術集会	神奈川
2024	12	救急・集中治療領域においてエンドオブライフケアを行う看護師の実践の基盤となる価値観 ー熟練看護師への面接調査ー	石橋昇	44回	日本看護科学学会	熊本県

●2025 年度 教育活動（講師など）

	月	日	役割	内容	名前	主催
1	5	10	講師	「意思決定支援、つなぐ」	角本 こずえ	広島県緩和ケア認定看護師会
2		12～ 5	講師	総合看護総論 看護管理	瀬良栄子 新本	広島市立看護専門学校 第一看護学科 3年生
3	5 5 5 5 6	8 15 21 28 4	講師	成人看護方法論Ⅲ 糖代謝異常患者の看護	中村麻里子	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生 第二看護学科 2年生
4	5	29	講師	精神科認定看護師を目指す方のための 説明会	城崎 裕美	日本精神科看護協会
5	6 7 8	14 19 16	講師	小児看護に関する専門研修「基本コース」 講義および事例検討の指導、助言	斉藤 志織	広島大学病院看護実践教育セ ンター
6	5	14	講師	成人看護方法論Ⅰ 集中治療患者の看護	貸川雄介	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生
7	5	22	講師	成人看護方法論Ⅰ 集中治療患者の看護	貸川雄介	広島市立看護専門学校 第二看護学科 2年生
8	5	23	講師	在宅看護方法論Ⅲ 地域医療連携	松谷加代子	広島市立看護専門学校 第一看護学科 3年生
9	5	24	講師	明日からの心不全連携を考える会 心不全治療の取り組み、連携の現状と課 題	杉町英子	日本ベーリンガーインゲルハ イム株式会社
10	5	25	講師	在宅看護方法論Ⅱ 地域医療連携	松谷加代子	広島市立看護専門学校 第二看護学科 3年生
11	5	28	講師	助産診断・技術学Ⅳ・演習	植田明子	広島国際大学
12	6	1	講師	精神科認定看護師実践報告 総合病院における実践を報告	城崎裕美	日本精神科看護協会
13	6	10	講師	救急医療体制、トリアージ概論 救急看護概論 小児救急看護	板原容子 笠井有希 木下笑香	広島国際大学
14	6	12	講師	心疾患～心不全の基礎知識～	杉町英子	広島県シルバーサービス振興 会
15	7	19	講師	小児看護に関する専門研修「基本コース」 講義および事例検討の指導、助言	木下笑香	広島大学病院看護実践教育セ ンター
16	6	19	講師	新人ナース集合研修③看護実践に活かす フィジカルアセスメント	上野友香理	広島県看護協会

	月	日	役割	内容	名前	主催
17	6	21	講師	新人ナース集合研修③看護実践に活かす フィジカルアセスメント	貸川雄介	広島県看護協会
18	6	25	講師	心肺蘇生や AED の使用方法等	板原容子	広島厚生病院
19	7	3	講師	新人ナース集合研修～救急蘇生	板原容子	広島県看護協会
20	7	2	講師	新人ナース集合研修～救急蘇生	笠井有希	広島県看護協会
21	7	5	講師	いのちの大切さ、こころとからだの話	大代 元	広島県看護協会
22	7	7	講師	脳神経看護教育セミナー明日から使える！ 認定看護師による脳卒中のざっくり 解説《超基礎編》	橘 千恵	日本脳神経看護学会中国地方 部会
23	7	7	ファシ リテー ター	日本小児看護学会第 34 回学術集会学会 倫理委員会テーマセッション	斉藤 志織	日本小児看護学会
24	7	8	講師	キャリア教育	波田朱里	山口大学医学部
25	7	10・ 17	講師	小児看護方法論Ⅰ 子どものアセスメント	斉藤志織	広島市立看護専門学校 第二看護学科 2 年生
26	8	16	講師	小児看護に関する専門研修「基本コース」 講義および事例検討の指導、助言	上甲貴江	広島大学病院看護実践教育セ ンター
27	7	19	講師	小児看護に関する専門研修「基本コース」	斉藤志織	広島大学病院看護実践教育セ ンター
28	7	13	講師	小児看護に関する専門研修「基本コース」 他職種からみた小児看護に必要な知識	西本涼子	広島大学病院看護実践教育セ ンター
29	7	13 20 27	講師	成人看護方法論Ⅳ 血液・造血器患者の看護	加登岡紗矢佳	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2 年生
30	7	24	講師	患者を支える看護師の役割	仁井山由香	中外製薬株式会社
31	7	30	講師	ハイリスク新生児や家族への支援	宮崎真希子	県立広島大学
32	8	17	講師	小児看護に関する専門研修「基本コース」	斉藤志織	広島大学病院看護実践教育セ ンター
33	9	4	講師	NCPR A コース	植田明子	県立大学助産学科
34	9	4 11 18 25	講師	統合看護総論Ⅰ	上野友香理 奥野和子	広島市立看護専門学校 第二看護学科 2 年生

	月	日	役割	内容	名前	主催
35	9	10	講師	クリティカルケア学科「救急初期対応技術」	板原容子	公益社団法人日本看護協会
36	9 11	17 25	講師	災害支援ナース養成研修	板原容子	広島県看護協会
37	9 11	18 6	講師	子どもの成長発達とプレパレーション	木下笑香	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生 第二看護学科 2年生
38	9	18	講師	精神看護総論 リエゾン精神看護	城崎裕美	広島市立看護専門学校 第二看護学科 2年生
39	9 11	18 26	講師	災害支援ナース養成研修 感染症編	多田裕貴	広島県看護協会
40	9 9	18 25	講師	成人看護方法論Ⅳ 緩和ケアを受ける対象者への看護	角本こずえ	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生
41	9 10	20 27 4 11 18	講師	統合看護総論Ⅱ	上野友香理 奥野 和子	広島市立看護専門学校 第二看護学科 3年生
42	9 10 11	20 18 8	講師	小児看護に関する専門研修 「アドバンスコース」の指導、助言	斉藤志織	広島大学病院 看護実践教育 研修センター
43	9	25	講師	成人看護方法論Ⅱ 緩和ケアを受ける対象者の看護	西本麻衣子	広島市立看護専門学校 第二看護学科
44	10	1 8	講師	小児看護方法論Ⅱ 子どものアセスメント	斉藤志織	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生
45	10	2	講師	新人助産師集合研修⑤新生児のフィジカルアセスメント	植田明子	広島県看護協会
46	10	5	講師	救急蘇生（初級コース）	貸川雄介	広島県看護協会
47	10	11	講師	洗浄・消毒・滅菌とファシリティーマネジメント	宮本良	国際医療福祉大学九州地区生涯教育センター
48	10	20	講師	がん化学療法を受ける患者の看護	加登岡紗矢佳	たかの橋中央病院
49	10 11	26 16	講師	第34回中国ストマリハビリテーション講習会	石橋千代美	中国ストマリハビリテーション講習会実行委員会
50	11	8	講師	回復を促進する周術期の看護	富永駿	広島県看護協会
51	11	10	講師	緩和ケアフォローアップ研修	井上智恵	広島大学病院

	月	日	役割	内容	名前	主催
52	11	13	講師	小児看護方法論Ⅱ 低出生体重児の看護	植田明子	広島市立看護専門学校 第二看護学科 2年生
53	11	15	講師	自宅でできる救急対応、フィジカルアセスメントについて	笠井有希	訪問看護ステーションかがやき
54	11	20	講師	精神看護総論 リエゾン精神看護	城崎裕美	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生
55	11	26	講師	心疾患～心不全の基礎知識～	杉町英子	広島県訪問介護事業連絡協議会
56	11	26	講師	小児看護方法論Ⅱ 低出生体重児の看護	植田明子	広島市立看護専門学校 第一看護学科 2年生
57	11	30	講師	第16回中国地区手術看護認定看護師教育セミナー「周術期二次的障害予防」	富永駿	中国地区手術看護認定看護師会
58	12	14	講師	小児看護学Ⅲ「子どもを看るとのこと」	木下笑香	呉医師会看護専門学校
59	12	4	講師	職員教育（看護師・リハビリ）	藤田百合子	医療法人たかまさ会
60	12	8	講師	新生児蘇生法講習会「継続学習支援コース」	堀 由貴	日本周産期・新生児医学会
61	12	13 20	講師	成人看護方法論Ⅳ 血液・造血器患者の看護	加登岡紗矢佳	広島市立看護専門学校 第二看護学科 2年生
62	12	16	講師	「身体拘束をしない」を実現するためのアプローチ	城崎裕美	北部医療センター安佐市民病院
63	1	17	講師	小児援助論1（小児の救急看護）	木下笑香	広島三次看護専門学校 第一看護学科・第二看護学科
64	2	14	講師	ACP とスピリチュアルペイン	仁井山由香	中外製薬株式会社

●令和 6 年度 臨地実習受入学校・実習部署一覧

令和 7 年 3 月現在

学校名	分野	実習部署	のべ学生数
市立看護専門学校 第一看護学科	基礎看護学Ⅰ	西 9 病棟・東 5A 病棟・東 5B 病棟・東 7A 病棟・東 9B 病棟	2753
	基礎看護学Ⅱ	西 7 病棟・西 8 病棟・東 5A 病棟・東 5B 病棟・東 7A 病棟 東 9B 病棟	
	成人・老年看護学Ⅰ	東 7B 病棟・中央手術室	
	成人・老年看護学Ⅱ	西 5 病棟	
	成人・老年看護学Ⅲ	中 8 病棟・	
	成人・老年看護学Ⅳ	西 7 病棟・東 6A 病棟	
	小児看護学	東 8A 病棟・東 9A 病棟・小児科外来	
	母性看護学	総合周産期母子医療センター(産科)(新生児科)・産科外来	
	統合看護学(医療連携)	医療支援センター	
	統合看護学	西 7 病棟・西 8 病棟・東 6A 病棟	
市立看護専門学校 第二看護学科	基礎看護学Ⅰ	東 7A 病棟・東 9B 病棟	1856
	基礎看護学Ⅱ	西 7 病棟・西 8 病棟・西 9 病棟・東 5A 病棟・ 東 5B 病棟・東 6B 病棟	
	成人看護学	西 8 病棟・東 6B 病棟・中央手術室	
	小児看護学	東 8A 病棟・東 9A 病棟・小児科外来	
	母性看護学	総合周産期母子医療センター(産科)(新生児科)・産科外来	
	統合看護学	西 7 病棟・西 8 病棟・西 9 病棟	
医師会看護専門学校医療 高等課程	成人・老年看護学	西 5 病棟・中 8 病棟・東 5B 病棟・東 6A 病棟・東 7A 病棟 東 9B 病棟	1443
	小児看護学	東 9A 病棟・小児科外来	
広島県立広島皆実 高等学校 専攻科 衛生看護科	母性看護学	総合周産期母子医療センター(産科)	18
日本赤十字 広島看護大学	母性看護学	総合周産期母子医療センター(産科 NICU・GCU)・産科外来	151
	小児看護学	東 9A 病棟	
広島国際大学 看護学部	小児看護学	東 9A 病棟	580
	統合看護学 (救急看護分野)	救急外来・救命救急センター	
	成人看護学Ⅰ	東 9B 病棟	
	母性看護学	総合周産期母子医療センター(産科 NICU・GCU)・産科外来	
	基礎看護学Ⅰ	中 7 病棟	
	基礎看護学Ⅱ	中 7 病棟	
広島国際大学 助産学専攻科	助産学実習Ⅰ	総合周産期母子医療センター(産科)(新生児科)	57
	助産学実習Ⅱ	総合周産期母子医療センター(産科)・産科外来	
	助産看護学Ⅲ	総合周産期母子医療センター(産科)・産科外来	
県立広島大学 助産学専攻科	助産学実習Ⅰ・Ⅱ	総合周産期母子医療センター(産科)・産科外来	152
安田女子大学 看護学部	成人看護学Ⅲ	救命救急センター・手術室・救急外来	201
	看護の統合と実践	西 8 病棟・西 9 病棟	
	小児看護学	東 9A 病棟	
	在宅看護学	医療支援センター	

延べ 7211

●令和 6 年度認定課程・特定行為研修受入学校・研修部署一覧

令和 6 年 12 月現在

学校名	分野	研修日	実習部署	学生数	のべ学生数
日本看護協会	クリティカルケア認定看護師 B 課程	2024 年 10 月 8 日～12 月 6 日 (40 日間)	ICU・救命救急センター	2 名	80